

労働者の安全確保をお願いします！

食料品製造業においては、「転倒」、「はさまれ・巻き込まれ」、「切れ・こすれ」等の災害が多く発生しています。このリーフレットを活用して災害防止対策の取り組み状況を確認し、必要な取り組みを行ってください。

1. ヒヤリハット、KY活動等で危険要因を確認しましょう！

・ヒヤリハット活動は、ヒヤリ！ハッ！としたが幸い災害にはならなかった事例を報告・提案する制度を設け、**災害が発生する前に対策を打つ活動**です。また、**危険予知活動(KY活動)**は、作業前に現場や作業に潜む危険要因とそれにより発生する災害について話し合い、**作業者の危険に対する意識を高めて**災害を防止する活動です。ほかにも**4S活動**などさまざまな活動があります。事業場の実態に即した活動を行いましょう。

2. リスクアセスメントを実施しましょう！

・作業現場にある**危険性**又は**有害性**を特定し、それによる労働災害(健康障害を含む)の重篤度(けがなどの程度)とその災害が発生する可能性を組み合わせるリスクを見積もり、そのリスクの大きさに基づいて、リスク低減措置を検討し、その結果を記録する**先取り型**の安全衛生管理手法です。ヒヤリハットやKY活動等を活用して危険性又は有害性を特定し、積極的な**予防対策**を講じましょう。

3. 作業手順書を整備しましょう！

・作業手順書には、**各作業の安全に関する注意事項**、**非常時の対応方法**など、労働者が安全に作業を行う上で必要な事項を盛り込みましょう。

4. 食品加工機械の安全対策を進めましょう！

・平成25年10月1日から、食品加工用機械について、作業の特性に応じた安全対策を義務付けた労働安全衛生規則が施行されました。機械の危険な部分への覆いの設置や、食品の原材料の送給・取り出し時の運転停止、用具の使用など必要な対策を講じましょう。

5. 定期的な教育を実施しましょう！

・**雇入れ時や新しい機械導入時、作業方法を変更したとき**などに教育を行うとともに、定期的に安全に関する啓発を図るために教育を行いましょう。

6. 『見える化』で危険個所を周知しましょう！

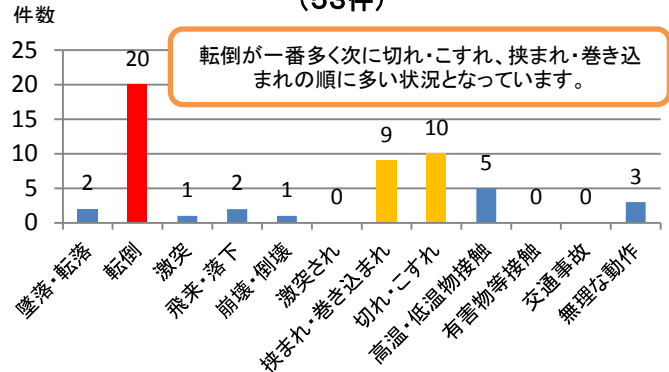
・危険の『見える化』は、**職場の危険を可視化(=見える化)**し、**従業員全員で共有**することです。KY活動などで見つけた危険のポイントに、ステッカーなどを貼りつけることで、注意を喚起しましょう。

新発田署管内における平成26年の労働災害発生状況の概要

1. 製造業における労働災害発生状況(休業4日以上96件)



2. 食料品製造業の労働災害における事故の型(53件)



特に多い転倒災害については、以下の取組を行いましょ！

4S(整理、整頓、清掃、清潔)活動を徹底しましょ

- ・床が濡れていたり、通路に荷物が置いてあつたりすると転倒災害の原因になります。
- ・4S活動を徹底することで、転倒などの災害を防止するだけでなく、作業の効率化などの副次的な効果も期待できます。
- ・清掃中の箇所を通る際には、床が濡れているおそれがあることにも留意しましょ。

大きい物や重量物を運ぶ際には台車を使つたり、転倒のリスクを低減したりする措置をとらましょ

- ・大きい物を無理に抱えて運ぼうとすると、足元や前方が荷物で見えにくい、両手が荷物でふさがつて身体のバランスが取りづらい、というように転倒のリスクが高まります。
- ・台車を使う、ひとりでは持たない、何回かに分けて運ぶなどすると腰痛のリスクを減らせます。

通路の照度は十分確保しましょ

- ・通路の照度が確保されていない状態は非常に危険です。特に、床が濡れていたり荷物が置いてあるなど4Sが徹底されていない状態や、物の運搬で足元が見えにくい状態が重なると、転倒のリスクはさらに高まります。

滑りにくい履物を履きましょ

- ・履物について、滑りにくいものを使用するとともに、靴底の摩耗状況を確認し、滑り止めの効果が低下しているものは交換しましょ。

労働災害防止対策リーフレット、支援ツール掲載ページのご案内

○各種安全対策のリーフレットについては、厚生労働省ホームページに掲載しています。労働災害防止活動にご活用ください。

『見える化』支援ツールも掲載しています。→

厚生労働省 安全 リーフレット 検索

墜落・転落危険!



【コメント】
脚立は、別の人に押さえてもらいましょう。

○『職場のあんぜんサイト』ホームページでは、ヒヤリハットやKY活動等に役立つ情報や『見える化』取り組み事例、リスクアセスメント支援ツールなど各種情報を掲載しています。

職場のあんぜんサイト 検索

○厚生労働省では、転倒災害防止のために『STOP! 転倒災害プロジェクト2015』を展開しています。職場のあんぜんサイト内に特設ページを設けていますので、併せてご利用ください。